

第2次生物多様性おおいた県戦略（期間H28～R4年度）の進捗状況について（令和2年度）

1 計画に定めた環境指標の評価結果

本県では、平成23年3月、生物多様性基本法の規定に基づき、「生物多様性おおいた県戦略」（戦略期間H23～H27）を策定し、「豊かな自然と人間とが共生するふるさと“おおいた”の創造」を基本目標に掲げ、生物多様性の恵みを将来にわたり受け続けるための様々な取組を進めてきました。

この戦略が平成27年度で最終年度を迎えるとともに、生物多様性を取り巻く状況の変化等に対応し、生物多様性の保全と持続可能な利用を目指した取組をさらに進めるため、また、「第3次大分県環境基本計画」の個別計画として、「第2次生物多様性おおいた県戦略」を平成28年3月に策定し、基本目標の実現に向けて、それぞれの施策を所管する部局が連携しながら生物多様性に係る関連施策を展開しています。

こうした施策の実施状況を把握するために定めた指標33項目について、進捗状況を確認しました。令和元年度の本計画の進捗状況の評価結果を8つの行動計画ごとに集約すると下記のとおりになります。

区分	指標 項目数	達成		概ね達成		未達	
		項目数	割合 (%)	項目数	割合 (%)	項目数	割合 (%)
合計	33	20	60.6	5	15.2	8	24.2
行動計画1 (重要地域の保全)	4	2	50	1	25	1	25
行動計画2 (生態系ネットワークの維持・形成)	1	1	100	0	0	0	0
行動計画3 (農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生)	4	2	50	2	50	0	0
行動計画4 (地域の特性に応じた保全と利用)	9	5	55.6	2	22.2	2	22.2
行動計画5 (野生生物の保護と管理)	4	4	100	0	0	0	0
行動計画6 (生物多様性の主流化の推進)	8	4	50	0	0	4	50
行動計画7 (調査・情報整備の推進)	1	0	0	0	0	1	100
行動計画8 (地球温暖化への対応)	2	2	100	0	0	0	0

○評価（達成・概ね達成・未達）の区分について

- ・「達成」 目標値を達成している場合
- ・「概ね達成」 目標値の90%以上達成している場合
- ・「未達」 目標値の90%未満である場合

第2次生物多様性おおいた県戦略の進捗状況について(令和2年度)

戦略	環境基本計画	指標項目	単位	2014 (H26) ※基準年度	2022 (R2)				担当部局	担当課	施策項目
					目標値	実績値	達成率	評価			
1	1	自然公園指導員の委嘱数	人	78	79	78	98.7%	概ね達成	生活環境部	自然保護推進室	1 重要地域の保全
2	2	景観行政団体(累計)	団体	13	18	18	100.0%	達成	土木建築部	都市・まちづくり推進課	1 重要地域の保全
3	14	国・県指定文化財数(累計)	件	894	925	935	101.1%	達成	教育庁	文化課	1 重要地域の保全
4	7	ジオガイドの活動回数	回	14	132	74	56.1%	未達	生活環境部	自然保護推進室	1 重要地域の保全
5	—	希少野生動植物の指定数(累計)	件	21	27	40	148.1%	達成	生活環境部	自然保護推進室	2 生態系ネットワークの維持・形成
6	11	多面的機能支払交付金制度事業計画認定面積	ha	20,514	25,500	24,133	94.6%	概ね達成	農林水産部	農林整備計画課	3 農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生
7	12	中山間地域等直接支払制度協定締結面積	ha	16,065	16,100	15,371	95.5%	概ね達成	農林水産部	地域農業振興課	3 農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生
8	46	化学肥料の使用量	t 以下	4,666 (H25)	4,557 (R1)	4294	105.8%	達成	農林水産部	地域農業振興課	3 農山漁村の持つ多面的機能の維持・再生

戦略	環境基本計画	指標項目	単位	2014 (H26) ※基準年度	2022 (R2)				担当部局	担当課	施策項目
					目標値	実績値	達成率	評価			
9	47	農薬の使用量	t 以下	1,248 (H25)	1,375 (R1)	1164	115.3%	達成	農林水産部 地域農業振興課	3 農山漁村の持つ多 面的機能の維持・ 再生	
10	—	森林面積(民有林)	ha	402	402	402	100.0%	達成	農林水産部 林務管理課	4 地域の特性に応じ た保全と利用	
11	—	間伐面積	ha	4,547	5,000	3,177	63.5%	未達	農林水産部 森林整備室	4 地域の特性に応じ た保全と利用	
12	9	森林ボランティア活動への参加者数	人	12,902	13,300	12,879	96.8%	概ね 達成	農林水産部 森との共生推進室	4 地域の特性に応じ た保全と利用	
13	22	河川の環境基準達成率	%	83.7	95.3	95.3	102.5%	達成	生活環境部 環境保全課	4 地域の特性に応じ た保全と利用	
14	23	生活排水処理率	%	72.3	81.3	79	97.2%	概ね 達成	土木建築部 公園・生活排水課	4 地域の特性に応じ た保全と利用	
15	25	水環境保全活動団体数	団体	50	89	91	102.2%	達成	生活環境部 うつくし作戦推進課	4 地域の特性に応じ た保全と利用	
16	13	漁場再生面積(累計)	ha	20,975	37,882	49040	129.5%	達成	農林水産部 水産振興課	4 地域の特性に応じ た保全と利用	
17	26	海岸清掃参加者数	人	14,128	19,411	10412	53.6%	未達	生活環境部 循環社会推進課	4 地域の特性に応じ た保全と利用	

戦略	環境基本計画	指標項目	単位	2014 (H26) ※基準年度	2022 (R2)				担当部局	担当課	施策項目
					目標値	実績値	達成率	評価			
18	8	一人あたりの都市公園面積	m ² /人	13.1	13.5	13.5	100.0%	達成	土木建築部	公園・生活排水課	4 地域の特性に応じた保全と利用
19	—	絶滅危惧種保護活動補助団体数(累計)	団体	—	15	16	106.7%	達成	生活環境部	自然保護推進室	5 野生生物の保護と管理
20	—	鳥獣保護区特別保護地区の指定箇所数	箇所	8	9	9	100.0%	達成	農林水産部	森との共生推進室	5 野生生物の保護と管理
21	—	アライグマ防除計画確認市町村数(累計)	市町村	14	17	17	100.0%	達成	生活環境部	自然保護推進室	5 野生生物の保護と管理
22	—	犬・猫の引取り数	頭以下	3,337	2,211	2,114	104.4%	達成	生活環境部	食品・生活衛生課	5 野生生物の保護と管理
23	—	高等学校での地域と協働した環境教育の実施件数	件	51	82	83	101.2%	達成	教育庁	高校教育課	6 生物多様性の主流化の推進
24	52	環境教育参加者数(累計)	人	63,082	105,000	123,012	117.2%	達成	生活環境部	うつくし作戦推進課	6 生物多様性の主流化の推進
25	—	公民館が実施する環境教育関係学級・講座数	回	26	36	30	83.3%	未達	教育庁	社会教育課	6 生物多様性の主流化の推進
26	48	グリーンツーリズム宿泊延べ人数(累計)	人	23,416	23,850	986	4.1%	未達	商工観光労働部	観光誘致促進室	6 生物多様性の主流化の推進

戦略	環境基本計画	指標項目	単位	2014 (H26) ※基準年度	2022 (R2)				担当部局	担当課	施策項目
					目標値	実績値	達成率	評価			
27	3	NPOとの協働による生物多様性保全活動の実施件数	件	80	92	93	101.1%	達成	生活環境部	自然保護推進室	6 生物多様性の主流化の推進
28	49	県民一斉おおいたうつくし大行動への参加者数	人	354,556	384,000	210,265	54.8%	未達	生活環境部	うつくし作戦推進課	6 生物多様性の主流化の推進
29	51	環境基本計画策定市町村数(累計)	市町村	9	11	13	118.2%	達成	生活環境部	うつくし作戦推進課	6 生物多様性の主流化の推進
30	—	生物多様性地域戦略策定市町村数(累計)	市町村	0	4	2	50.0%	未達	生活環境部	自然保護推進室	6 生物多様性の主流化の推進
31	—	いきものウォッチング登録件数(累計)	件	0	1,400	1,221	87.2%	未達	生活環境部	自然保護推進室	7 調査・情報整備の推進
32	34	二酸化炭素排出量(家庭、業務、運輸部門合計)	千t-CO2 以下	7,475 (H25)	6,765 (H30)	5,501	118.7%	達成	生活環境部	うつくし作戦推進課	8 地球温暖化
33	38	エコエネルギー導入量	TJ	41,398	52,667	53,639	101.8%	達成	商工観光労働部	新産業振興室	8 地球温暖化